

2024年12月17日(火)9:20からCRTスタジオで収録

<すぐに効果の上がる国語学習の方法をご紹介します>

一度学んだすべての国語教材（一度解いたテスト問題も含め）を、徹底的にマスターしましょう。

そのために、①「意味調べ」②「音読練習」③「書き取り練習」を、ていねいに、致しましょう!

開倫塾

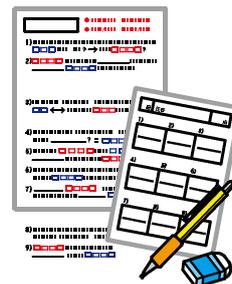
塾長 林明夫

1. はじめに

- (1) ①このとおり行えば、だれでも、国語のテスト、つまり、「単元テスト」「学年末試験」「実力テスト」「漢字検定」「入学試験（大学入試、高校入試、私立中学入試などすべて）」、「国家試験」「就職試験・採用試験」で、よい点数が取れます。
 - ②国語の学校成績、入試偏差値が一気に上がります。
 - 大学入試、高校入試の国語の偏差値が、今からでも、10～20アップします。
 - ③国語の4技能（国語・日本語を読む、聞く、書く、話す）も身に着きます。
- (2) やり方は、簡単です。「一度学んだ国語の教材（一度解いた国語のテスト問題すべても含めます）」について、
 - ①「意味調べ」
 - ②「音読練習」
 - ③「書き取り練習」①～③、この3つを、ていねいに、やり続けることだけです。
- (3) 最終目標は、一度学んだ「国語（一度解いたテストも含め）」教材を活用して、「自分のことばでいえる（表現・説明できる）」ようになることです。

2. 何を用いて、この「国語の勉強」をするのか。

- (1) <学校で学ぶ国語ご教材すべて>
 - ①「学校教科書」
 - ②「学校問題集・ワークブック」
 - ③「学校で配られるプリント」
 - ④「学校で行われた国語のテスト問題すべて」
- (2) ①「開倫塾の国語テキスト」
 - ②「開倫塾の国語独自教材」
 - ③「開倫模試・国語」
 - ④「業者模試・国語過」
 - ⑤「漢字検定過去問」
 - ⑥「入学試験など、すべての、国語過去問」

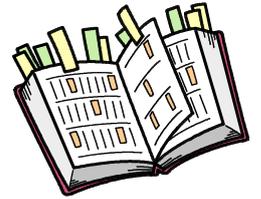


(3)「家庭などでチャレンジしている国語教材のすべて」

3. <では、どのように、国語の勉強をしたらよいか、ご提案>

(1) 学校、開倫塾、ご家庭で勉強している「国語の教材（一度解いた試験問題のすべても含めます）」すべてについて、今日から、

- ①「意味調べ」
- ②「音読練習」
- ③「書き取り練習」



(2) この3つを、時間をかけ、ていねいに、着実に行うことです。

(3) この3つを、ていねいに行うだけで、国語力が身に着き、あらゆる国語のテストの点数が、確実にアップします。大学入試、高校入試、中学入試の、国語の模擬試験の偏差値が、確実にアップします。

4. <意味調べ>の方法

(1)「意味調べ」は、次の3つの「辞書」を用いて行います。

- ①「国語辞典」と、
 - ②「漢字辞典（漢和辞典）」、
 - ③「古語辞典」
- 「スマホ」でもOKです。



(2)「辞書」で調べた内容は、「意味調べノート」に、必ず、書き写します。

- ①「意味調べノート」は、あとで教材別に分類しやすいように、「ルーズ式のノート」をおすすめします。
- ②「教科書」、一度解いた「すべてのテスト問題と解答解説」、一度読んだ「新聞」「雑誌」「本」を読んでいて、「読み方がわからない語句」や、「少しでも意味のわからない語句」があったら、「気持ちが悪い」と考えて、必ず、「辞書（国語辞典、漢字辞典、古語辞典）」を用い、「読み方」「意味」を調べ、「意味調べノート」に「書き写す」こと。これを、一日も早く、学習習慣とすること。

③目標は、1日10語以上、調べること。

(3) まず、教材名や、ページなどを、明記。

- ①「意味調べノート」の1ページの、5分の1には、「調べた語句」を書き写します。
- ②「意味調べノート」の、次の5分の1には、「読み方（仮名）」を書き写します。
- ③「意味調べノート」の、最後の5分の3には、「語句の意味」を書き写します。

(4) ①「書き写し」たら、その場で、「声を出して」読み、「読み方」と「意味」を覚えること。

②「声を出して読み」ながら、「語句」と「その意味」を、「楷書で、書き順を含め、正確に書ける」ようになるまで、「書き取り練習」をすることです。

③「意味調べ」「読み方調べ」「意味調べノートへの書き写し」「音読練習」「書き取り練習」で、身に着けている「語彙数が飛躍的に増加」します。「言葉は力」「語彙数は力」です。

○ていねいな「意味調べ」で、一度、目にした「語句」で、「読めない」「書けない」「意味のわからない」語句を、少しずつでも、少なくすることが、「効果の上がる国語学習」の第一

です。

5. 「音読練習の方法」は次の通りです。

(1) 語句の意味が分かり、その読み方がわかったら、あとは、ひとまとまりの文章ずつ、例えば、1章ずつ、1ページずつ、大きな声で、ゆっくり、正確に、スラスラよく読めるようになるまで、読む練習、つまり、「音読練習」あるのみです。



(2) 「学校教科書」だけでなく、「開倫塾のテキスト」「開倫塾の教材」「一度解いた問題」「様々な試験の過去問」など、ありとあらゆる教材について、「意味調べ」「音読練習」を、時間をかけ、ゆっくり、ていねいに行うことこそが、「国語力アップ」の上で、最も効果があります。

○この、「意味調べ」と、「音読練習」が、最も効果を発揮するのは、古文や、漢文です。「難関中学入試」「難関高校入試」「大学入試の独自問題」です。

(3) これに、総仕上げとして、「音読練習」をした内容の、「書き取り練習」が加われば鬼に金棒です。

6. おわりに

(1) この「一度学んだ教材（テストも含む）のすべてを対象」に、「復習」として、「意味調べ」「音読練習」「書き取り練習」をていねいに、時間をかけておこなう「学習方法」「学習習」は、「英語」「国語」だけではなく、「社会」「理科」はじめ、全教科に極めて高い「学習効果」をもたらします。

(2) 「予習」として、これを行い「授業」に臨み、「復習」でこれを補えば、「深い理解」、「学んだことを、自分のことばでいえる（表現・説明できる）」ことが、一段と可能となります。

(3) 学校時代にこの「学習方法」を身に着ければ、社会に出て、「仕事」「社会的活動」「日常生活」「よく生きる」ために「今まで学んだことを学び直し」、また、「新しいことを学ぶ」際に、大いに役立つと確信します。

○この①「辞書」②「音読練習」③「書き取り練習」を、ご自分自身の「効果の上がる学習方法」として、自由自在に「ご活用」ください。そして、人生の選択肢を広げ、「多様な選択肢のある人生を歩む」大切な、ツール（道具）にお加えください。